



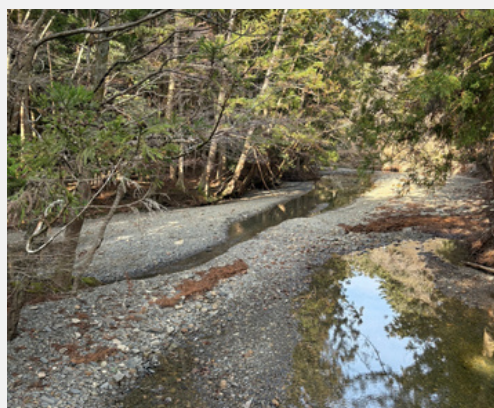
国際シンポジウム

日本のカワウソのこれまでとこれから ～海外の事例から考える～

カワウソは地域の生態系の健全性を示す指標種であるとともに、人と自然との関係性を考察する上でも重要な存在です。本シンポジウムは、かつて日本に生息していたカワウソの歴史や、近年対馬で確認されている痕跡情報を踏まえつつ、対馬の水界生態系の改善やカワウソの定着・復活などの多様な手法について国内外の専門家が一堂に会し議論する場を提供し、日本におけるカワウソ保全の新たな可能性を探ります。

2025年 **8月30日** **土** 13:00～16:30
長崎市立図書館 新興善メモリアルホール

8月31日 **日** 13:00～16:30
東京農業大学 世田谷キャンパス 横井講堂



■講演：

1. 日本のカワウソの歴史と対馬の現状
(佐々木浩：本協会理事長、筑紫女学園大学)
2. オランダにおけるユーラシアカワウソ復活・再導入
(アディ・ディ・ジョン氏：カワウソステーション財団)
3. 韓国におけるユーラシアカワウソの生息状況
(ハン・ソンヨン氏：韓国カワウソセンター所長)
4. 対馬の磯焼けなど海の現状
(釜坂 綾氏：元・対馬市島おこし協働隊 海の森再生支援担当)

本シンポジウムは、2025年5月19日～6月22日に実施したクラウドファンディングにおいて、多くの皆さまからご支援をいただき開催の運びとなりました。本協会の活動に賛同してくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

- 主催：日本アジアカワウソ保全協会
■後援：日本動物園水族館協会、長崎県、対馬博物館（申請中）
■お問い合わせ：info@ocsj.asia

日本のカワウソのこれまでとこれから ～海外の事例から考える～

プログラム

進行：中木原まい
(日本アジアカワウソ保全協会 事務局長)

■開場・受付 (12:30 ~)

■開演・挨拶 (13:00)

■講演 (13:05 ~15:20)

1. 日本のカワウソの歴史と対馬の現状



佐々木 浩 (日本アジアカワウソ保全協会理事長、筑紫女学園大学)

1989年に高知県で、2017年に対馬で、環境庁(省)から依頼を受けてカワウソの生息状況調査を行った。韓国、東南アジアでカワウソの調査、保全、研究活動を行っている。現在は、マレーシアにおいてコツメカワウソとビロードカワウソの雑種研究、コツメカワウソとスマトラカワウソの生態について保全研究を進めている。日本アジアカワウソ保全協会理事長、IUCN・SSCカワウソ専門家グループ委員。

2. オランダにおけるユーラシアカワウソ復活・再導入



アディ・ディ・ジョン氏 (カワウソステーション財団)

オランダのグローニンゲン州立大学の卒業後、イギリスで著名な動物生態学者ハンス・クルーク博士に学ぶ。オランダでは1988年にユーラシアカワウソが絶滅したが、アディ・ディ・ジョン氏は1985年にカワウソステーション財団を設立し、行政やNPOと協力して生息地の改善、湿地の連続化、水質改善を進めた。2004年にラトビアとベラルーシで12頭のカワウソを捕獲してオランダに再導入を行い、カワウソは現在徐々に分布を広げつつある。これらのカワウソ保護活動に対して2010年オランダ王室からナイトの称号を受けている。

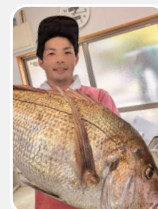
3. 韓国におけるユーラシアカワウソの生息状況



ハン・ソンヨン氏 (韓国カワウソセンター所長)

1998年にカワウソの生態研究で博士号を取得。1999年に韓国カワウソ保全協会、2005年に韓国カワウソ研究センターを設立し、代表を務める。2013年にはカワウソ飼育施設を備えたカワウソ研究センターを建設。IUCN・SSCカワウソ専門家グループ委員。韓国環境省絶滅危惧種委員会委員。韓国ではカワウソが全国的に生息しており、ハンソンヨン氏らの尽力で近年では都市部にもその生息域を広げつつある。

4. 対馬の磯焼けなど海の現状



釜坂 綾氏 (元・対馬市島おこし協働隊 海の森再生支援担当)

長崎市出身。福山大学大学院で水産生物の分類や育種を学び、2021年より対馬市水産課の地域おこし協働隊員として藻場の再生に取り組む。対馬の海で進行する磯焼け問題に注目し、かつて46か所以上で確認されていた藻場が14か所にまで減少した実態を明らかにした。市役所に設置した藻場を紹介する「しますい」の展示や出前授業・観察会を通じて、対馬の海の魅力と環境課題を広く発信。協働隊の任期終了後も精力的に活動を継続している。

■休憩 (15分)

■質疑応答・パネルディスカッション (15:35 ~16:25)

コーディネーター：佐々木 浩

パネルディスカッション：講演者全員

■閉会 (16:30)

- ・アディ・ディ・ジョン氏の講演は英語、ハン・ソンヨン氏の講演は韓国語にて行われます。
- ・会場ではZoomの翻訳字幕機能を用い、日本語字幕をリアルタイムで表示予定です。
- ・東京会場では、カワウソ保全支援のためのチャリティオークション(グッズのサイレントオークション形式)を実施予定です。

各会場と日時

長崎開催：2025年8月30日(土) 13:00-16:30

場所：長崎市立図書館 新興善メモリアルホール

定員：120名

東京開催：2025年8月31日(日) 13:00-16:30

場所：東京農業大学 世田谷キャンパス 横井講堂

定員：250名



意見交流会

国際シンポジウムの開催に先立ち、8月27日に対馬にて地域住民との交流会を実施いたします。当日は登壇者4名に加え、自治体、漁業、自然保護などに関わる皆さまにご参加いただき、現地の自然環境に関する意見交換と議論の深化を図る予定です。本シンポジウムにおいては、この対馬での視察や地域の皆さまから伺ったご意見を踏まえた形で、より実りあるディスカッションを行いたいと考えております。

